

# 国語科学習指導案

指導者 福山市立伊勢丘小学校 平 桜子

- 1 研修テーマ 心に残った事例を選び、「考えの形成」につなげる指導の工夫
- 2 日 時 令和5年10月5日(木) 第5校時
- 3 学 年 第2学年1組 男子16名 女子12名 計28名
- 4 単元名 じぶんのこととかさねて考えよう  
「どうぶつ園のじゅうい」(光村図書 こくご二上 たんぽぽ)

## 5 単元について

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)国語第1学年及び第2学年の〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オの指導事項「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。」を受けて設定している。

「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ」とは、文章の内容を、自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりして、文章の内容に対して児童一人一人が思いをもつことである。児童が獣医の仕事について書かれた文章を自分の体験を想起しながら読み、文章の内容と自分の体験を結び付けた上で感想をもつことを目指していきたい。

本単元で扱う「どうぶつ園のじゅうい」は、動物園の獣医の1日の仕事について日記のように書かれている。教材文は「朝」「見回りがおわるころ」「夕方」などの時を表す言葉が、段落の冒頭に示されており、時間的な順序を捉えやすい。また、時間的な順序に着目して読むことによって、文章の内容を捉えやすくなると考えられる。さらに、仕事の内容だけでなく、それぞれの仕事のわけや工夫を整理して読むことで、自分が病院で受診をした時の経験や、学校の歯科検診等を受けた経験、家庭で看病をしてもらった経験が想起され、児童が文章の内容と既有的知識や経験と結び付けて解釈し、理解を深める力を身に付けるのに適している教材である。

### (2) 児童観

本学級の児童は、「たんぽぽのちえ」の教材文を通して、「二、三日たつと」「やがて」などといった時を表す言葉に着目して、時間によって変わっていく事柄の様子や、「～からです。」「～のです」のようなわけを表す文末表現に着目して、事柄のわけを捉える学習を行ってきた。感想や振り返り、自分の考えを書いたり述べたりする際には、わけを述べる言葉を使える児童が増えてきた。しかし、時を表す言葉であることは分かっているが、順序通りに並べ替えたりすることが難しく、言葉の意味理解まではできていない児童もいる。

第1学年では、「どうぶつ園の赤ちゃん」の教材文を通して、2つの対象を比べて読み、特徴の違いなどを捉える学習を行っている。文章を読んで感想をもつ学習は、さまざまな学習活動で取り組んできているが、文章の内容を自分の体験と結び付けて解釈し、理解を深めた上で感想をもつ学習は、今回が初めてである。

### (3) 指導観

指導に当たっては、文章の内容を自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりして、感想をもつことができるようにするために、次のことに留意して指導を行う。

時を表す言葉に着目させ、時間の経過の順に並び替えるなどして、時間的な順序を捉え、時を表す言葉の意味と文章の内容の理解につなげる。本学級の児童は、生活科の学習で短期間の飼育経験はあるが、学校での小動物の飼育経験は十分ではないため、獣医師と同じような視点では、自分の体験と結び付けることが難しいと考えた。そこで、心に残った獣医の仕事を選ぶことで、児童が病気になった時に家族が看病してくれたことや病院を受診した時のこと、学校で行われる検査・検診等の苦手だと感じたことや嬉しいと感じた体験などから文章の内容に結び付けて、文章を解釈し理解を深めることで感想をもつことができるように指導していきたい。また、自分の考えを整理できるようなワークシートを用意し、文章の内容と自分の体験のどのような部分が似ていたり違っていたりするかをまとめることができるようにする。

## 6 単元の目標

- 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。  
〔知識及び技能〕(2)ア
- ◎ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

7 単元の評価規準

獣医の仕事と自分の体験とを結び付けてもらった感想を書きまとめる活動を通した指導【言語活動例 ア】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア</p>	<p>・ 「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。 (C (1) ア)</p> <p>・ 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 (C (1) オ)</p>	<p>・ 粘り強く、文章の内容と自分の体験とを結び付け、学習課題に沿って、思いや感想を文章にしようとしている。</p>

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況 (B)】	「努力を要する」状況 (C) と判断した児童への指導の手立て
<p>思考・判断・表現</p>	<p>「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>ワークシート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>④ 内容に対する思い</b> 獣医さんは、動物が元気にくらせるように、仕事を工夫してすごいと思いました。今度は、私たちが元気にくらせるように、工夫して仕事をしている人について調べてみたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; display: inline-block; width: 200px;"> <p><b>② 自分の体験</b> 私も風邪をひいて薬を飲むことがあります。その時に、お母さんがゼリーに混ぜて、苦い味が分からないようにして飲ませてくださいました。 (①で選んだことにつながる自分の体験を書いている。)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; display: inline-block; width: 200px;"> <p><b>① 獣医さんの仕事</b> 獣医さんの仕事で、大変だなと思った仕事は、けがや病気の動物に薬を飲ませる仕事です。どうしてかというところ、えさに混ぜたり粉にしたりして、いろいろな工夫をしているからです。 (大変だと思った仕事とその理由を教材文を基にして書いている。)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>③ ①②を結び付けて解釈し深めた理解</b> 獣医さんも私のお母さんも、動物や私が元気にくらせるように、工夫をしているのだと思いました。 (①②の共通点や相違点を見つけるなど、理解を深めたことが書かれている。)</p> </div>	<p>・ 病院だけでなく、学校で歯科検診等を受けた時のことから、どんな感じがしたか、苦手だななどを対話から引き出していく。</p> <p>・ ①の部分は、ワークシートでの活動の前の時間で、『どの仕事が一番大変か』を比べる活動を通して、考えをもっておく。</p>

8 指導と評価の計画 (全 10 時間)

次	学 習 内 容	評 価			
		知	思	主	評価規準・評価方法 等
一	<p>①②学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育や動物園へ行ったことなどの体験を交流し、興味をもって範読を聞く。</li> <li>・「獣医の仕事と自分の体験とを結びつけて考える」という課題を知り、学習計画を立てる。</li> </ul>				
二	<p>③獣医の仕事はいくつ書いてあるか数える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中に書かれている仕事を数えることで、獣医にはいつ、どのような仕事があるのかなど、内容の大体と文章の構成を捉える。</li> <li>・時を表す言葉に着目して、仕事を見付ける。</li> </ul> <p>④時間の順序に気をつけて、内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しごと」「わけ」「くふう」を整理する。</li> </ul> <p>※考えの形成に向けて</p> <p>仕事についてまとめる中で、自分に似ている体験がないか、あれば似ていると思うところに線を引き自分の体験をメモさせておく。そうすることで、考えの形成の際に、結び付く体験が想起されやすい。</p> <p>⑤仕事の内容に着目して、仲間分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日する仕事とその日だけする仕事など、教材文を根拠に仲間分けをする。</li> <li>・仕事を毎日する理由等も教材文から考え、内容への理解を深める。</li> <li>・共通、相違に気付く。</li> </ul>		○		<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ノート・発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C (1) ア)</li> </ul>
	<p>⑥(本時)⑦獣医の仕事の中で、心に残った仕事は何か選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大変だ」「驚いた」「初めて知った」等の視点から選ぶようにする。選んだ理由は、本文から読み取ったことを基に、根拠をもって考える。また、自分の体験を結び付けて考える。</li> </ul>		○		<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C (1) オ)</li> </ul> <p>※第三次で記録に残す評価をするため、第二次では指導に生かす評価に留める。</p>
三	<p>⑧⑨獣医の仕事で大変だと思ったことと自分の体験とを結びつけて分かったことや思ったことをまとめ、交流する。</p> <p>⑩学習を振り返る。</p>		○	○	<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C (1) オ)</li> </ul> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p><u>児童の様子</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く、文章の内容と自分の体験とを結び付け、学習課題に沿って、思いや感想を文章にしている。</li> </ul>

9 本時の学習

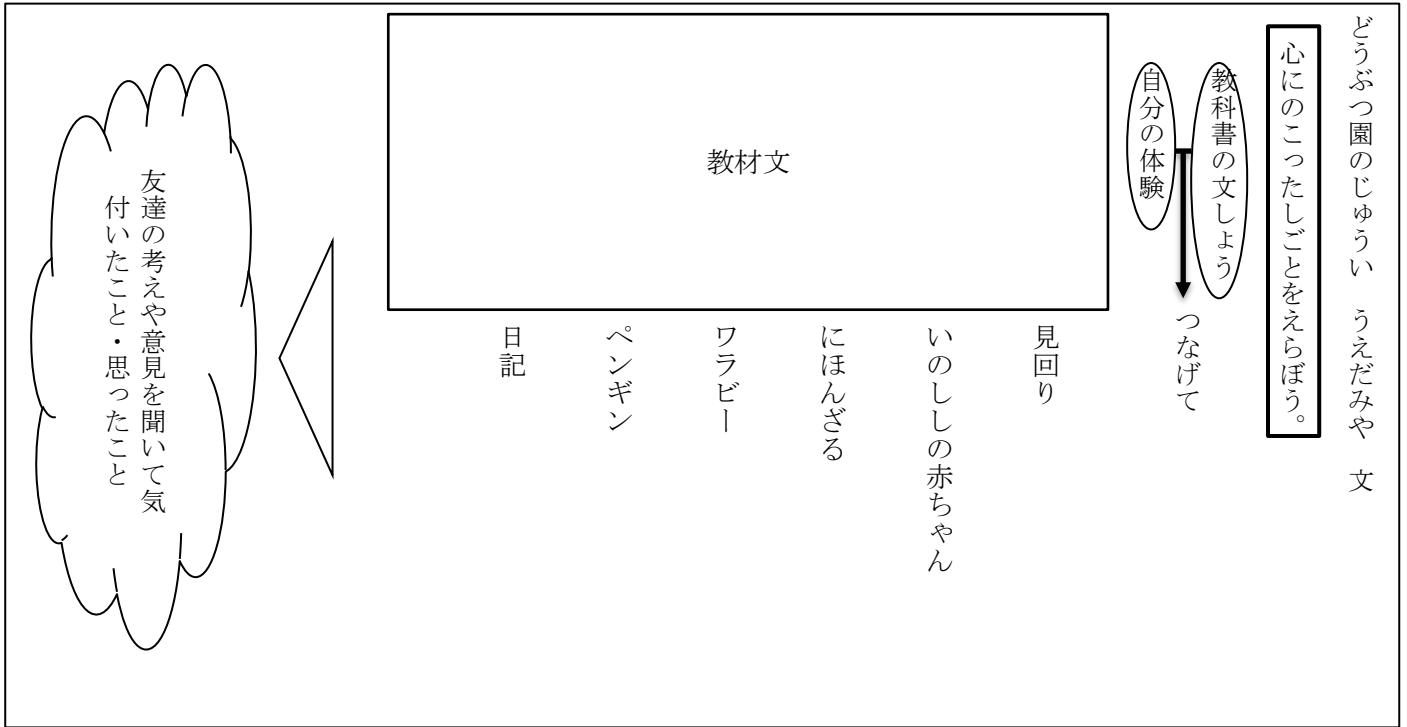
(1) 本時の目標

獣医の仕事の中で、一番心に残った仕事を自分の体験と結び付けた根拠をもって選ぶことができる。

(2) 学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 □主な発問 ・予想される児童の反応 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
<p>1. 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2. 本時の課題を確認する。</p> <p>3. 獣医の仕事の中で心に残った仕事を選ぶ。</p> <p>①「大変だ」「驚いた」「初めて知った」などを視点に残った仕事を選ぶ。</p> <p>②仕事の内容(教材文)を基に、選んだ理由をワークシートに書く。</p> <p>③自分の体験の中で似ているようなことはないか考える。</p> <p>4. 自分が選んだ仕事を、理由と共に全体で交流する。</p> <p>5. 本時を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>□獣医の仕事にはどんなものがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り ・おなかにきかいをあてる ・薬を飲ませる</li> <li>・はぐきの治療 ・ボールペンをはき出させる</li> <li>・日記を書く ・お風呂に入る</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の心に残った仕事を選ぼう。</p> </div> <p>□獣医さんの仕事の中で心に残った仕事は何ですか。</p> <p>◆獣医の仕事から似ている自分の体験が結び付かない児童(①→②が難しい児童)には、自分の体験から、それに似ている獣医の仕事を選ぶ(②→①を書く)ように促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見回り             <ul style="list-style-type: none"> <li>→広い動物園を歩くのは大変だから</li> <li>毎日同じことをするのは飽きてしまいそうだから</li> <li>私も毎日挨拶をして地域の人に顔を覚えてもらったことがあるから</li> </ul> </li> <li>・いのししの赤ちゃん             <ul style="list-style-type: none"> <li>→獣医さんだけではなくて飼育員さんも必要だから大変</li> <li>新しい命にかかわるから、慎重にする必要があるから</li> </ul> </li> <li>・にほんざるに薬             <ul style="list-style-type: none"> <li>→さるが薬をよけてしまってなかなか飲んでくれないから大変</li> <li>薬を飲まないといけがが治らないのに飲んでくれないのは困るから</li> <li>私も薬が苦手だから工夫をしているのがすごい</li> </ul> </li> <li>・ワラビーの治療             <ul style="list-style-type: none"> <li>→歯医者さんにみてもらうのはわたしも怖いから</li> <li>歯茎が痛いとおももの食べることも大変そうだから</li> <li>動物が暴れると大変だと思うから</li> </ul> </li> <li>・ペンギン             <ul style="list-style-type: none"> <li>→間違えて飲んでしまうと命にかかわるから</li> <li>間違えて飲んで亡くなってしまうこともあると思うから</li> </ul> </li> <li>・日記を書く             <ul style="list-style-type: none"> <li>→毎日、たくさんのことをくわしく書くのが大変</li> <li>朝のことを細かく思い出すのは難しそう</li> <li>私も毎日振り返りを書いているから同じだから</li> </ul> </li> </ul> <p>○自分の病院での体験や家で看病してもらった体験等を選んだ根拠にしている児童を認め、広げていく。</p> <p>◆病院だけでなく、学校で歯科検診等を受けた時のことから、どんな感じがしたか、苦手だなと感じたことはないかなど<u>対話</u>を通して引き出す。</p> <p>◆動物の気持ちになって考えているものには、切り返しの発問をし獣医の仕事に目を向けることができるようにする。</p> <p>○友達の考えや体験から、自分にも似たような体験がないかを見つけるように視点を示す。</p> <p>◆教材文を根拠にした理由と自分の体験を根拠にした理由の色分けをすることで、視覚的に違いを示す。</p> <p>□友達の意見を聞いてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医さんはとても大切な仕事をしている。</li> <li>・どの仕事も命に関わる大切な仕事</li> <li>・大変な仕事</li> </ul> <p>○同じ仕事や違う仕事を選んだ友達の意見から、どの仕事も大変で、欠かせない仕事であることを感じられるようにする。</p> <p>○次時は、今回、文章の内容と自分の体験とを結び付けたことから、獣医の仕事と自分の体験の共通点や相違点を見つけるなどして、分かったことや感想を文章にしていくことを伝える。</p>	<p>心に残った仕事を自分の体験や既有的知識と結び付けて選んでいる。(ワークシート・発言)</p> <p>※次時において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっているかどうかの評価を行うため、本時では次時の指導に生かす評価に留める。</p>

(3) 板書計画



※教材文を根拠にした理由と自分の体験を根拠にした理由で色分けをして、板書する。

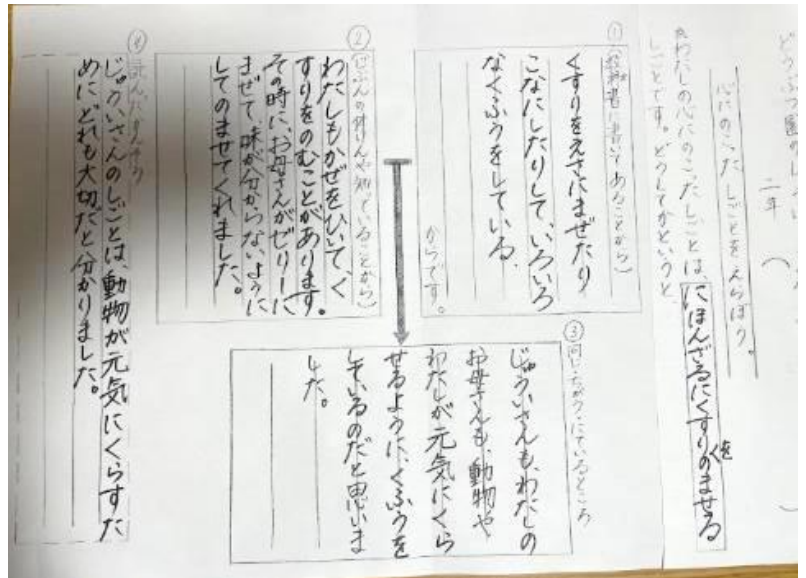
10 指導の実際

(1) 指導上の工夫

①ワークシート

→段階的に考えを整理することができるように「①教科書に書いてあること②自分の体験③分かったこと・似ていること・同じこと・違うこと④文章の感想」とした。抜き出すことが難しい児童には、①の時に、教材分に線を引かせるようにして、どこからその仕事を選んだのかを明確にした。②では①に似ている自分の体験を友達との交流や対話の中で引き出していく。①と似ている体験が結び付きにくい児童には、自分の体験から、似ている仕事を選ぶように促した。④では、教材文と自分の体験を結び付けたことで見えてきた獣医の仕事の大変さなどについて理解したことを書くようにした。

→書き方の例を示すことで、スムーズに考えをまとめることができるようにした。



②板書

→心に残った仕事を選んだ理由を、教材文を根拠にしたものを白色、自分の体験を根拠にしたものを黄色で書き、視覚的に「教材文」と「自分の体験」のどちらを根拠とした理由なのか分かるように板書をした。板書されている友達の体験を見たり、友達の意見を聞いたりすることで、自分にも似たような体験があることに気付いたり、獣医さんの仕事が欠かせないものであることに気付いたりしていた。



### ③体験の想起

→教材文を読み取って整理する際には、児童が「私も菓をゼリーにまぜてもらったことある」や「注射が嫌いだから暴れてお母さんにおさえられた」などの自分の体験を動物側に重ねていた。そこで想起された体験については、似ていると思った文章に線を引き、書き残しておくことで、その後の「考えの形成」の場面で用いることができるようにした。ここでは、「〇〇された」のように、獣医の仕事ではなく動物の気持ちに立っているのが、本時の考えを形成する場面では、獣医の目線に立てるように手立てが必要である。（後記の手立ての具体②）

## (2) 児童のつまずきと実際に講じた手立ての具体

### ①文章の内容と自分の体験が結び付きにくい

#### →友達やグループでの交流

- ・前時までの文章を読む際に、自分に似たような体験がないかを意識して読み、交流することで体験を想起させた。
- ・同じ仕事を選んだ友達との交流からは、体験が具体的に想起された。また、似たような体験から本文と似ているところや違うところに気付きやすかった。違う仕事を選んだ友達との交流からも、自分では気付かなかった共通や相違の關係に気付くことができている児童がいた。

#### →教師との対話

- ・友達との交流でも、文章の内容と自分の体験が結び付きにくい児童には、病院にかかったときやけがをした時の経験などを教師との対話の中から引き出し、似ているところを見つけていった。

### ②「痛そう」や「かわいそう」など、動物と自分を重ねる児童がいた

#### →切り返しの発問

- 自分も注射の時に押さえられたことがある！などの意見に・・・

「その時のお母さんや病院の先生はどんな様子だったか」→押さえられている人も大変そうだった。

「嫌がるのになんでそうやってするのか」→動物や自分に元気にすごしてほしいから

「かわいそうだからしないほうがいいね」→かわいそうだけど、元気でいてもらうために必要なこと

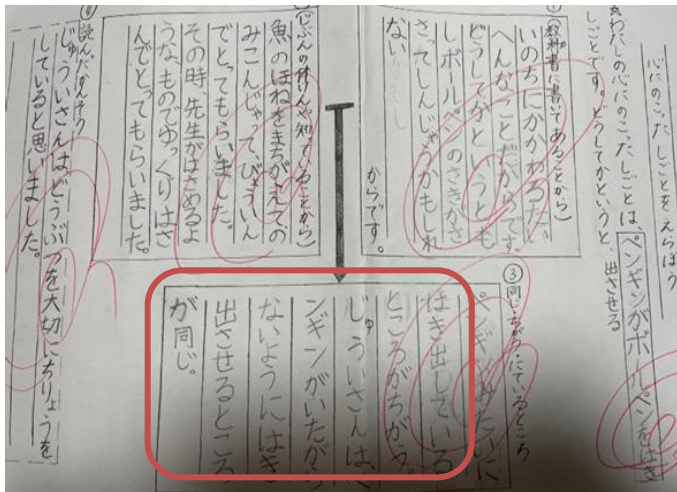
- ・切り返しの発問をすることで、それまで動物側に立って考えていた児童も、仕事をする側や周りにいる人側に目を向けて考えていた。また、どうしてそうするのかを考えることで、獣医の仕事への理解を深める様子も見られた。

## 11 評価の実際

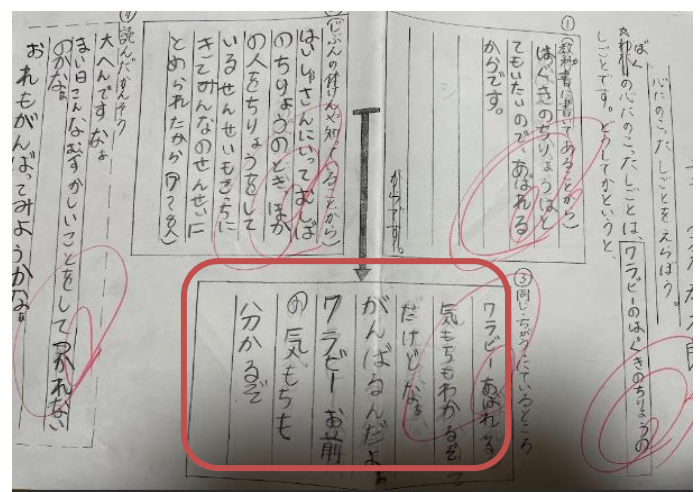
### (1) 評価の具体

「おおむね満足できる」状況（B）

「努力を要する」状況（C）



【児童アのワークシート】



【児童イのワークシート】

アの子供：心に残った仕事を選んだ理由について、文章の内容と似ている自分の体験を根拠にして書いている。また、それらを比べて同じところや違うところを見付け、獣医の仕事に対する思いに気付き、感想をもっている。

イの子供：心に残った仕事を選んだ理由について、文章の内容と似ている自分の体験を根拠にして書いている。しかし、動物側の気持ちになり似ているところを見付けた感想になっている。

「努力を要する」状況（C）と評価していた児童は、獣医と歯医者先生では診ているものが違うため、似ているところや同じところに気付きにくかった。そこで、どうしてワラビーの歯茎の治療が大変だと思ったのか、自分が押さえられているときは病院の先生はどんな様子だったかなどを質問していくことで、「大変そうであったこと」「獣医さんも病院の先生も動物や自分のためにしてくれていること」に気付き、似ているところを見付けることができた。そこから、獣医さんは大変だけど動物を守るためにはなければならない仕事であると新たな感想をもっていたため、「おおむね満足できる」状況（B）と評価し直した。

## （2）児童の評価

- ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている児童は、約95%であった。本教材は、「朝」「お昼前」「夕方」のように、1日の時間的な流れが捉えやすく、ほとんどの児童が、これまでに学習してきた「時を表す言葉」に着目し、時間的な順序を理解し、内容の大体を捉えることができていた。
- ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができた児童は61%であった。文章の内容と自分の体験とを結び付けることはできたが、結び付けたことから共通点や相違点を見つけ、理解を深めた感想をもつことに難しさを感じる児童がいた。

## 12 成果と課題

### （1）成果

#### ①ワークシートの工夫

段階的に考えを書くことができるワークシートで、自分の考えを整理することができた。

#### ②「選ぶ」というわかりやすい活動

自分と似ていることを見付けながら読むことを楽しんでいた。

#### ③交流の場の設定

友達との交流やグループでの交流で、考えを深めたり違う視点を得たりしていた。

### （2）課題

#### ①教材文に留まらず、並行読書したものを読み、文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもつ経験を増やすようにする。

→学習した読み方を活用して、教材文以外でも感想をもつことで定着を図る必要がある。

#### ②単元の中で、教材文と自分の体験を結び付けて感想をもつ活動を何度か経験させる必要があった。

→結び付けるとはどのようなことなのかの理解に繋げる。

#### ③体験の想起の仕方

→自分の体験と結び付けるにあたって、自分の家族に病院で困ったことがなかったかを聞いてきた児童がいた。その児童は、スムーズに体験を想起し書くことができた。事前に家族にインタビューをすると体験を想起させる手立てとなったのかもしれない。

### （3）今後に向けて

今後、様々な教材に出会う中で、今回学習した、文章の内容と自分の体験とを結び付けるという感想の持ち方ができるよう、繰り返して取り組んでいきたい。